

# 稲作情報

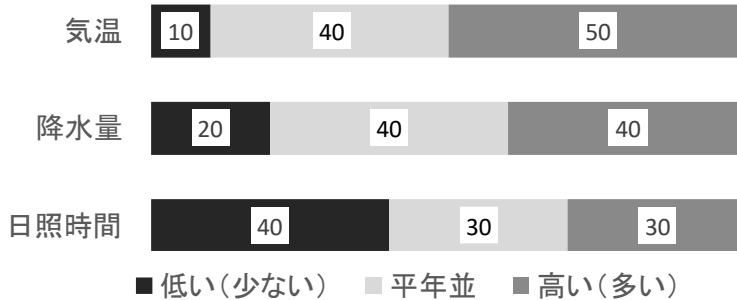
(幼穂形成期～登熟期前半の管理)

令和4年度第4号  
令和4年7月15日発行  
福島県喜多方農業普及所、JA会津よつば、  
喜多方市、北塩原村、西会津町

## 天気予報

期間の前半は、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。期間の後半は、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。平年に比べ、平均気温は高い確率50%、降水量は多い確率40%、日照時間は少ない確率40%です。

### <1か月予報> (7/7 仙台管区气象台 発表)



## 病害虫対策

農薬を使用する際は、ラベルをよく確認!

### 1 斑点米カメムシ類

#### (1) 除草

- ・ 草刈りは、出穂の10日前までに実施しましょう。 これより草刈りが遅れると、カメムシ類を水田内に追い込むことになり、かえって被害を助長させることとなります。

#### (2) 薬剤防除

- ・ 薬剤防除は下表を参考に実施して下さい。地域単位での一斉防除が効果的です。
- ・ 水面施用剤(粒剤)による防除は、穂揃期～乳熟期(出穂期の5～10日後)に湛水状態で散布し、7日間止水します。 その後も多発が予想される場合は、散布剤で追加防除します。
- ・ 散布剤(粉剤・液剤)による防除は、乳熟期(出穂期の7～10日後)を基本とし、 その後も発生が予想される場合は7日おきに追加防除を行います。

#### 斑点米カメムシ類防除薬剤の例

薬剤名	使用時期	使用量	使用回数
スタークル粒剤	収穫7日前まで	3kg/10a	3回以内
スタークル液剤10	収穫7日前まで	140～150L/10a (希釈倍数1,000倍)	3回以内
キラップ粉剤DL	収穫14日前まで	3～4kg/10a	2回以内
MR.ジョーカー粉剤DL	収穫7日前まで	3～4kg/10a	2回以内

### 2 穂いもち

- ・ 育苗箱施用剤の効果が低下してくる時期ですので、ほ場で葉いもちが発生していないか十分に確認をしましょう。
- ・ いもち病は多湿により発生しやすくなりますので、連続した降雨が予想される場合は注意してください。
- ・ 穂いもちの防除には、育苗箱施用剤や葉いもち防除で使用した薬剤と異なる成分の薬剤を使用してください。
- ・ 福島県病害虫防除所のホームページでは、いもち病の感染好適日を公表しています。



病害虫防除所の HP

## 穂もち防除薬剤の例

剤名	使用時期	使用量	使用方法	備考
コラトップジャンホP	出穂30日前 ～5日前まで	小包装(パック) 10～13個 (500～650g)/10a	水田に小包装 (パック)のまま投 げ入れる。	藻や浮草で拡散が阻害される場合 には使用しない。
コラトップ粒剤5	出穂30日前～5日前まで	3～4kg/10a	散布	
フジワン粒剤	出穂10～30日前 (但し、収穫30日前まで)	3～5kg/10a	湛水散布	

## 水 管 理

水稲の生育ステージに合わせた水管理を行きましょう。

### (1) 出穂25日前頃から出穂直前

間断かん水（必要に応じて浅水管理）を行い、根に水分と酸素を供給しましょう。

### (2) 出穂直前～開花期

水分補給のため浅水管理としますが、台風が予想される場合は深水とします。

### (3) 登熟期

- ・間断かん水を行います。収量減や品質低下を防ぐため、落水時期は出穂後30日頃です。
- ・高温が続く場合、昼間湛水して夜間落水（または、自然落水）することで、日中の地温を低下させ白未熟粒の発生を抑えます。なお、用水の状況を確認しながら実施してください。

### (4) 用水対策

全体的に見ると、現在のところ用水が不足している状況ではありませんが、今後、用水が不足した場合の対応について、地域や集落において事前に話し合いを進めておきましょう。

## 肥 培 管 理

食味を維持した肥培管理をしましょう。

- ・基肥に一発型肥料を使用していない場合は、下表を目安に追肥（穂肥）を行います。診断時に草丈が長かったり、葉色が濃い場合は時期を遅らせるか、場合によっては施肥を見合わせます。
- ・コシヒカリの場合、7月末頃の葉色が4.0よりも淡い場合は、窒素成分で1kg/10aを出穂5日前(8/3頃)までに施用し、稲体の活力を維持させ、収量減や品質低下を防ぎましょう。

### 穂肥の目安と生育診断の目安

品 種	平年出穂日		穂肥の時期 (出穂前日数)	窒素成分量 (kg/10a)	穂肥診断時期の標準的生育量			
	(過去5ヶ年平均)	(地域)			診断時期 (出穂25日前)	幼穂長	草丈	葉色 (カラスケール)
ひとめぼれ	7月31日	平坦部	7月6日 (25日前)	2.0	7月6日	1～2mm	65cm以下	3.5～4.0
天のつぶ	8月3日	平坦部	7月9日 (25日前)	2.0	7月9日	1～2mm	70cm以下	3.5～4.0
コシヒカリ	8月8日	平坦部	7月24日 (15日前)	1.0～1.5	7月14日	1～2mm	65～70cm	3.0～3.5
ふくひびき	7月30日 (2ヶ年平均)	平坦部	7月5日頃 (25日前)	2.0	7月5日頃	1～2mm	65～70cm	3.5～4.0
里山のつぶ	8月7日 (R元年)	山間部	7月13日頃 (25日前)	2.0	7月13日頃	1～2mm	65cm以下	3.5～4.0

熱中症に注意！暑い時間帯の作業を避け、こまめな水分補給を！

★本情報の内容や米づくりに関するお問い合わせ、相談はこちらへどうぞ。

会津農林事務所喜多方農業普及所

TEL 0241-24-5744

J A会津よつば 喜多方営農経済センター営農振興課

TEL 0241-21-1801